

コシナガワハギ (小品川萩)

名前の意味：小さなシナガワハギの意味、花が小さい。シナガワハギは、品川に生えていた萩の意味。

分類：双子葉類、マメ科、シナガワハギ属

(マメ科の栽培植物：エンドウ、アズキ、ソラマメ、ダイズ、ラッカセイ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ原産

特徴：斜めに立ち上がる茎、3枚に分かれた葉、乾かすと甘い香りがする

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：5枚、離弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：5—6月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：コメツブツメクサやコメツブウマゴヤシとは、茎が斜めに立ち上がることと、穂が長いことで区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)